



## 平成27年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年7月31日

上場会社名 日本和装ホールディングス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 2499 URL <http://www.wasou.com/profile/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田重久  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 菅野泰弘 TEL 03-3216-0070  
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月12日 配当支払開始予定日 平成27年9月14日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有  
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年12月期第2四半期の連結業績（平成27年1月1日～平成27年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第2四半期	2,467	△24.2	86	△50.6	53	△56.9	△9	—
26年12月期第2四半期	3,253	12.3	174	△27.1	124	△41.2	57	△52.9

(注) 包括利益 27年12月期第2四半期 △8百万円 (—%) 26年12月期第2四半期 48百万円 (△59.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第2四半期	△1.08	—
26年12月期第2四半期	6.42	—

(注) 平成27年12月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。また、平成26年12月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年12月期第2四半期	7,100	2,180	30.6
26年12月期	7,735	2,212	28.5

(参考) 自己資本 27年12月期第2四半期 2,171百万円 26年12月期 2,207百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	—	2.00	—	3.00	5.00
27年12月期	—	2.00	—	—	—
27年12月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

(注) 当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では期末日における配当予定額は未定であります。

### 3. 平成27年12月期の連結業績予想（平成27年1月1日～平成27年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,030	△12.9	100	—	50	—	22	—	2.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年12月期2Q	9,002,000株	26年12月期	9,002,000株
② 期末自己株式数	27年12月期2Q	0株	26年12月期	0株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年12月期2Q	9,002,000株	26年12月期2Q	9,002,000株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する説明 .....	2
(2) 連結財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	4
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	4
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	6
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7
3. 補足情報 .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する説明

前事業年度末に営業拠点を29拠点から15拠点へと統廃合したことから、当事業年度は経営資源を大都市圏に集中して運営しております。

「無料きもの着付教室」の新規受講生については、1月から3月にかけて、企業イメージの向上も兼ねて有名タレントを起用した広告を展開した結果、計画通りの受講生数を達成しました。1クラスあたりの受講生を少人数（6名以内）にした個別指導の体制をとり、よりきめ細かな教室運営に注力することで、カリキュラムに組み込んだ販売機会による売上高は、ほぼ計画通りに推移しました。

「無料きもの着付教室」の卒業生（会員様）を対象としたイベントでは、前事業年度までの実績で人気の高かったイベントに絞り込んで開催し、予算の範囲内での運営に努めております。当第2四半期累計期間においては、2月に「きものブリリアンツ地区大会」、5月に「加賀ツアー」、6月に「遊々会」を開催し、経費管理に注力しながら、目標を上回る取扱高を達成しました。

連結子会社については、株式会社はかた匠工芸（博多織の製造販売業）が、いまを市場開拓のための先行投資の段階と捉え、前事業年度に出店した「男きもの専門店SAMURAI」を中心に、男きもの市場の拡大に注力しております。日本和装クレジット株式会社（当社グループのお客様向けショッピングローン事業）は、安定した業績で推移しました。海外子会社においては、ベトナムでの縫製事業が軌道に乗り、連結業績の向上に寄与しております。

これらのことから、売上高については、統廃合による営業拠点数の減少が主な理由で2,467百万円（前年同四半期比24.2%減）となりました。

利益面では、営業拠点数の減少に伴う固定費の減少や、会員様向けのイベント開催の経費管理に注力したこと等が奏功し、販売費及び一般管理費が減少したものの、連結業績では株式会社はかた匠工芸の損失（営業損失28百万円）が影響し、営業利益は86百万円（前年同四半期比50.6%減）となりました。

営業外損益では、海外子会社に対する貸付金の回収に伴う為替差益7百万円を計上する一方で、日本和装クレジット株式会社の運転資金の借入金利息を21百万円計上、資金調達手数料として支払手数料17百万円計上したこと等から、経常利益は53百万円（前年同四半期比56.9%減）となりました。

法人税等は、法人税、住民税及び事業税を14百万円、法人税等調整額19百万円を計上するとともに、過年度法人税等30百万円を計上したことにより、63百万円（前年同四半期は77百万円）を計上いたしました。

これらの結果、四半期純損失は9百万円（前年同四半期は四半期純利益57百万円）となりました。

なお、当社グループは、和服及び和装品の販売仲介を中心とした、きもの関連事業の単一セグメントのため、セグメント情報に関連付けた記載を省略しております。

## (2) 連結財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して634百万円減少して7,100百万円となりました。流動資産で、割賦売掛金が502百万円減少したこと等によるものです。

負債につきましては、固定負債で、償還により社債が50百万円減少したことや、日本和装クレジット株式会社の運転資金としての長期借入金が、返済により811百万円減少したこと等により、総額では602百万円減少し、4,920百万円となりました。

純資産につきましては、当第2四半期連結会計期間に計上した四半期純損失9百万円及び配当金の支払い27百万円により、利益剰余金が37百万円減少したこと等から、前連結会計年度末と比較して32百万円減少し、2,180百万円となりました。

## (3) 連結業績予想に関する説明

平成27年2月27日に公表いたしました連結業績予想からの修正は行っておりません。

現在の取り組みについて

経済産業省の和装振興研究会が平成27年6月16日に発表した報告書では、「きもの日」を制定すること等、和装振興に関する提言がありました。当社グループは、これを和装業界に著しい経済効果をもたらす、またとないチャンスと捉えております。

既に当社グループでは、前事業年度に設立した特定非営利活動法人「和服を世界遺産にするための全国会議」と連動し、和服をユネスコ無形文化遺産へ登録することを目指した活動を展開しております。また、前事業年度に出店した「男きもの専門店SAMURAI」を中心に、当社グループをあげて、男きものPRを充実させております。男性向けきもの市場の開拓は、当社がこれまで開拓してきた女性きもの市場との相乗効果により、和装業界を活性化するものと期待しております。

## 2. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,141,944	1,090,425
営業未収入金	367,107	362,800
割賦売掛金	4,035,034	3,532,408
たな卸資産	103,270	124,122
その他	864,964	822,865
貸倒引当金	△42,428	△47,562
流動資産合計	6,469,893	5,885,060
固定資産		
有形固定資産	675,987	666,737
無形固定資産	36,828	132,520
投資その他の資産	552,993	416,430
固定資産合計	1,265,810	1,215,688
資産合計	7,735,703	7,100,749
<b>負債の部</b>		
流動負債		
営業未払金	46,269	43,769
短期借入金	1,912,856	2,110,140
1年内償還予定の社債	100,000	100,000
未払法人税等	24,579	18,102
前受金	334,082	335,462
営業預り金	15,786	6,519
その他	582,367	575,596
流動負債合計	3,015,941	3,189,591
固定負債		
社債	150,000	100,000
長期借入金	2,347,860	1,536,638
その他	9,000	94,309
固定負債合計	2,506,860	1,730,947
負債合計	5,522,801	4,920,539
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	459,634	459,634
資本剰余金	336,487	336,487
利益剰余金	1,426,892	1,389,808
株主資本合計	2,223,014	2,185,931
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△15,862	△14,179
その他の包括利益累計額合計	△15,862	△14,179
新株予約権	5,749	8,458
純資産合計	2,212,901	2,180,210
負債純資産合計	7,735,703	7,100,749

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)
売上高	3,253,990	2,467,683
売上原価	410,100	249,783
売上総利益	2,843,889	2,217,900
販売費及び一般管理費	2,669,076	2,131,474
営業利益	174,812	86,425
営業外収益		
受取利息	211	209
為替差益	—	7,455
その他	5,282	5,489
営業外収益合計	5,494	13,155
営業外費用		
支払利息	25,620	23,909
支払手数料	25,804	17,557
その他	4,127	4,340
営業外費用合計	55,552	45,807
経常利益	124,755	53,773
特別利益		
新株予約権戻入益	3,171	—
特別利益合計	3,171	—
税金等調整前四半期純利益	127,926	53,773
法人税、住民税及び事業税	94,657	14,011
過年度法人税等	—	30,293
法人税等調整額	△17,182	19,258
法人税等合計	77,474	63,562
少数株主損益調整前四半期純利益	50,452	△9,789
少数株主損失(△)	△7,318	—
四半期純利益	57,771	△9,789

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	50,452	△9,789
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△2,086	1,683
その他の包括利益合計	△2,086	1,683
四半期包括利益	48,365	△8,106
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	55,684	△8,106
少数株主に係る四半期包括利益	△7,318	-

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	127,926	53,773
減価償却費	44,078	44,942
新株予約権戻入益	△3,171	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2,530	5,135
受取利息	△211	△209
支払利息	25,620	23,909
為替差損益 (△は益)	113	△7,455
営業未収入金の増減額 (△は増加)	△159,893	4,306
割賦売掛金の増減額 (△は増加)	△522,008	502,625
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△3,685	△19,558
営業未払金の増減額 (△は減少)	2,457	△4,139
前受金の増減額 (△は減少)	△20,843	11,316
営業預り金の増減額 (△は減少)	21,409	△9,267
割賦利益繰延の増減額 (△は減少)	54,115	△10,572
その他	△1,140	92,089
小計	△432,702	686,895
利息の受取額	199	195
利息の支払額	△26,900	△23,832
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△80,715	△26,456
営業活動によるキャッシュ・フロー	△540,119	636,801
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額 (△は増加)	—	128,359
有形固定資産の取得による支出	△130,513	△8,135
無形固定資産の取得による支出	△10,543	△10,758
敷金保証金の増加額	△24,749	△13,145
敷金保証金の減少額	7,126	30,201
その他	△10	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△158,689	126,521
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,221,000	235,520
長期借入れによる収入	2,000,000	—
長期借入金の返済による支出	△469,731	△845,694
社債の償還による支出	△50,000	△50,000
配当金の支払額	△72,016	△27,006
その他	△1,629	△4,439
財務活動によるキャッシュ・フロー	185,623	△691,619
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,486	5,097
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△516,671	76,801
現金及び現金同等物の期首残高	1,781,842	1,011,985
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,265,171	1,088,787



(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、和服及び和装品の販売仲介を中心としたきもの関連事業の単一セグメントであるため記載を省略しております。

### 3. 補足情報

季節的変動について

当社グループの主な収益源は、「無料きもの着付教室」の受講生及び卒業生を対象とした販売機会において、各契約企業が商品販売することに対する仲介手数料です。

「無料きもの着付教室」は年2回(春期・秋期)開講しており、春期は第1四半期中に受講生を募集して開講し、受講中となる第2四半期を中心に販売機会を開催して終了します。同じく秋期では、第3四半期中に受講生を募集・開講し、第4四半期を中心に販売機会を開催して終了します。そのため、販売機会による仲介手数料の計上が第2四半期と第4四半期に集中します。

その他、教室の卒業生である会員様を対象とした販売機会を不定期に開催しておりますが、「無料きもの着付教室」に係る売上高の計上時期の偏重が大きいため、各四半期業績に季節的変動があります。